

VOC 抑制対策

環境省



The Knights

環境省は、浮遊粒子状物質 (SPM) の環境基準達成に向けた揮発性有機化合物 (VOC) 排出抑制対策の検討に着手しました。汚染状況の改善を促進するため、追加的措置として今年 11 月中旬をめぐり基本的な枠組みを取りまとめる予定です。

SPM の環境基準は 1 時間値で $200 \mu\text{g}/\text{m}^3$ (1 日の平均値で同 $100 \mu\text{g}/\text{m}^3$) と定められています。環境省では、これを 2010 年までにおおむね達成するという目標を掲げ、自動車排出ガス規制をはじめとする排出削減に取り組んでいます。しかし、2002 年度の環境基準達成率は一般環境大気測定局で 52.6%、自動車排出ガス測定局で 34.3% と前年度に比べ、ともに 10 ポイント程度低下しており、目標達成に向けた追加的措置が求められています。

VOC は、光化学オキシダントおよび SPM の二次生成粒子の原因物質とされています。また、無機化合物由来の二次生成粒子にも関与していることがわかっています。国内の 2000 年度の VOC 総排出量は約 185 万トンで、このうち約 90% に当たる 150 万トンが固定発生源によるものと推定されています。主な排出源は塗装、印刷用溶剤、クリーニングなど溶剤使用となっており、溶剤関係で全体の約 70% を占めます。今回の揮発性有機化合物排出抑制検討会は、これまで手付かずだった固定発生源を由来とする VOC の排出抑制対策の技術面および制度面に関する検討を目的に設置されました。計 4 回の検討会を開催し、今年 11 月中旬をめぐり検討結果の取りまとめを行う予定です。第 1 回目の検討会では、VOC に係る総論として対策の必要性と手法や削減レベル、対象業種などの対策のあり方、分析方法を含む定義を中心とした専門的な事項に関して議論を行いました。

対策の必要性については、SPM による大気汚染状況や VOC を起源とする SPM の生成メカニズム、米国、カナダ、EU や韓国などの諸外国の状況、国内でも地方自治体で条例による規制が制定されていることなどをもとに、何らかの対策が必要という結論で一致しました。また、対策のあり方については、対象となる排出源に中小規模の事業者が多く含まれることや現在進められている自主的な取り組みを阻害することが無いよう配慮することなどの意見が出されました。とくに排出抑制の目標については、基準値を設定して一律に規制をかけるやり方ではなく、すでに確立している排出抑制技術をベースに設定するのが望ましいという方向性で議論が進みました。米国では上位 10 社が採用している先進技術をもとに目標を設定し、産業全体をより高い水準に誘導していく手法を採用しており、国内でも同様の考え方を採用する方向で検討が進められる見通しです。

資料： 2003年10月1日付 化学工業日報

機器分析個所 船津 実希

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 埼玉県さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590 FAX.048-886-2817
URL : www.knights.co.jp

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第 20 条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

